

オートア '06大賞

MOTOR SPORTS部門

大平 邦夫

オクヤマ☆ふれじ屋インプレッサ

特B「オイ、夕日ってあんまりキレイなもんじゃないな。あれ見て泣くヤツの気が知れんな」
編M「いきなりなんじゃそりゃー！」
特B「気付けばここ4、5年、この会話から始まるような気がするんだけどよ、今さら夕日見て泣いてる場合じゃないってことよ。オレは忙しいんだ！」
編M「泣かんのかっ！」
特B「なんでいちいち夕日見て泣いてなきやならんのよ。アホかオマエは」
編M「今までメソメソ泣いてたのはどっちだってえの！」
特B「いいんでねえか！ オレはもう完全復活したのよ！」
編M「おお、それじゃあすっかり糖尿も治り、アツチの方も…」
特B「それはまだだ。ほっとけっていの！」

という印象だな。例年のことだけでなく、若い選手がなかなか上で活躍できないってのがな、周りにいるオレ達にとっては歯がゆいことでもあるんだよ」
編M「若手に速い選手がいなくていいこと？」
特B「いや、速いとか遅いとかって勝負事の前には、なんちゅうかオラがないんだよ、残念なこと。荒削りだろうがなんだろうが、『あつ、コイツやるな』って思わせる選手がなかなか出てこない。例えばだけど、(平中)克幸なんかは、カートの時代からオラがあつたんだよ。人とは違う何かを感じさせてくれるわけよ。(鎌田)卓麻もそうだな。勝つ時も勝てない時も含めて、新庄じゃなんだけど、もってるものがあつたろうな。そういうのを走りで感じさせてくれたもんだよ」
編M「確かに、豪快とかそういう意味ではなく、大胆な若者は少なくなつたかも」
特B「クルマを壊せとは言わないけど、若いウチにしか出来ない走りってのはあるんだけどな。それが、最初からうまくまとめて走っている方向に向いている。もちろんそれは、速く走るためには必要なこと、なんだろうけど、若いうちからその走りだけになつたら、壁が来たときに乗り越えられないことが多いのよ。それで辞めていくヤツも少なくないしな。そういう意味で、若いヤツで勢いのあるヤツがいなのは残念だな」
編M「そう考えると、なかなか該当者が…」
特B「うーん、ダートラでは亀森(隆志)が惜しかったな。チャンピオンになれるチャンスがあつたわけだし、結果的にはチャンスを生かせなかつたってことだろうな。オマエは誰か気になつた選手はいないのか？ ラリーのことはさっぱり分からんし」
編M「ラリーの方も、Cの渡辺潤に

しろBの秋中俊介はある意味順当にチャンピオンかなあと思つた。1戦1戦はもちろんだけど、シリーズを通して戦うっていうスタンスがあつたから、強さを感じたかな。若手という点、塩谷クンと藤原クンかな。もう一皮すると大化けするかもって言う雰囲気はある。ただ、今は無理すると落ちる(笑)。それと、なんて言うんだろう、エンジン掛かり始めるのが遅いかな。終盤のペースを前半から出せれば…っていう印象かな」
特B「そういえば、ヤツはどうした？ 北見に勢いのいいオヤジがいただよ。去年は砂川の全日本以外ヤツの走りを見てないんだけど、ホントにいい走りしてたぞ」
編M「去年は、全日本ダートラにほぼフル参戦してた。最初はなかなか上位に行けなかつたけど、最終的にはクラス2位に入賞したのさ。オレと同年。凄くない？」
特B「おお、そりゃ凄いな。元々こつちで走ってた時も、我が道を行くというかイケイケタイプだったからな。それが去年の全日本の砂川じゃあ、イケイケなのは変わらんだけだ、安定感がまるで違つたな。コーナーのアプローチが早えんだよ。なりゆきで突っ込み番長じゃなくて、ちゃんと姿勢を作つてから入っていく。そこから行くのかよ！ 的な走り、見ていてもワクワクしたな」
編M「砂川は、ちょうど下の段から上の段に上がったところでシフトミスしてタイムダウンしたけど、そこまでの中間ラップは、表彰台コースだったからな」
特B「大平のいいところは、我が道を買っているところだと思ふんだよ。昔っから、基本的に走りは変わっていない。いい歳のおヤジなのに、



どのドライバーよりもイケイケ度が高いからな。だから、失敗したら目も当てられないタイムになることもあるわけよ。でもな、自分のスタイルを持っていてっていうのは、いつの時代でも強いな。特に彼の場合は、自分のスタイルを曲げてないで買っているわけだからな。今の時代ってのは、いろんな方法で情報を集める事が出来る代わりに、その情報に踊らされることもあるんだよな。どの情報が自分にとって本当に役立つかっていう選択が難しいのよ。ある意味、どれも正解なわけだからな。かといって、本当にそれが自分のスタイルの役に立つかどうかっていうのは、これまた別の話なんだよな。それとな、いろいろ教えてもらうのもいいんだけど、それは結局、教えてもらった人を越えることにはならねえってことに気付かない。だから、そういうスタイルの選手は壁が来るのも早い。乗り越えるのも時間がかかる。ベテランでああいう走り



は、貴重な存在だな。北海道でもとと走ってくればいいのにな」
編M「本人も同じようなこと言つた。情報があまりすぎるから、逆にその情報に振り回されすぎる若手が多いいって」
特B「何だよ、よく分かつてるじゃねえかよ。さすがオヤジだな。やっぱりな、モータースポーツってのは勢いがなきやダメだな。巧さっていうのは、あとからなんぼでもついてくる。だけど速さっていうのは、絶対情報だけでは手に入らないもんなんだよな。オレも現役時代、その速さがどれだけ欲しかったことか…」
編M「その話、長い！」
特B「人の話を聞けってえの！ まああれだ、そういうわけで今回はオヤジパワーに敬意を表してとこだな。ああいう走りをナマで見れるっていうことは、絶対良いことだぞ。去年はあれだろ、名古屋に行つた若者が大賞だったんだろ!? いいじゃねえか今年はおヤジに…」
編M「そこかよっ！」
特B「冗談はさておき、今年も全日本ダートラではオレら的には一番注目なことは間違いないな。いきなり全日本1年目で2位に入賞したってのは、原以来じゃないか？ 遅咲きのベテランに期待だな。若者にもいい刺激になると思うぞ」